

EXTRADER Algo パラメータ・機能紹介

ver.1.4.8 対応版 / 2026 年 8 月 21 日

本資料はパラメータ、機能紹介となります。ストラテジーに関する基本的な操作方法やセッティングは EXTRADER ST、AT と変わらない為、そちらのマニュアルをご確認ください。設定パネルに表示される順にセクションごとにまとめています。各セクションの冒頭に、そのセクションが何を決めるものかを記載しています。

はじめに —— エントリーロジックと条件の適用範囲

本ストラテジーのエントリーは「出来高アルゴ」と「GC/DC アルゴ」の 2 系統があり、「エントリーロジック選択」でどちらか一方だけが動作します。選ばなかった側のセクションに入力した条件は動作しませんので、設定の際はご注意ください。

両方に適用される条件

基本エントリー条件（期間・エントリー選択・エントリー株価指定・発注時の制限値幅限界・差金決済規制）、デイトレ エントリー条件、日経平均株価 MA 乖離率

出来高アルゴのみ

出来高アルゴ エントリー条件セクションのすべて（日足 MA 位置関係、日足 MA 昇降率、5 日 MA 突破日数、急騰落回避、日足 MA 基準エントリー、日中足 MA 基準エントリー、抵抗髭率、指定値 許容乖離率、対 1 本前出来高比較、値幅率など）

GC/DC アルゴのみ

GCDC アルゴ エントリー条件セクションのすべて（条件に現在値も含む、超短期線が短期線と並行、移動平均線 2 本の角度乖離値、エントリー判断足条件、日足 MA 乖離率）

表示

チャート上の描画を切り替えるセクションです。実運用でアラートのみを使う場合は「プロット表示」を OFF にすると動作が軽くなります。

プロット表示

チャート上の描画をすべて一括で切り替えます。OFF にすると 13 箇所の描画とその計算が止まります。以下の 2 項目は ON のときだけ有効です。

└ 日足移動平均線 表示

日足の 5MA・25MA・75MA を表示します。

└ GCDC 条件移動平均線 表示

GCDC 条件で使う短期線と長期線を表示します。

基本エントリー条件

取引の前提条件を入力するセクションです。エントリー可能な期間、売買の方向、発注株数、ナンビンの有無など、すべての取引に共通する枠組みを決めます。

エントリー開始日／時間	入力した日時以降にエントリーを行います。取引を開始したい日時をご入力ください。
エントリー終了日／時間	入力した日時までエントリーを行います。アラートの消し忘れによる想定外のエントリーを防ぐ目的にも使えます。
エントリー選択	買いのみ、空売りのみ、両方のいずれかを選択します。
発注株数計算	発注株数を、入力した投資金から自動計算するか、入力した発注株数で固定するかを選択します。OFF の場合は常に 100 株となります。
└ 投資金	投資金（円）を入力します。「投資金計算」を選んだ場合に使用します。
└ 発注株数	毎回固定した発注株数を入力します。「株数指定」を選んだ場合に使用します。
└ 最低単元	対象の銘柄の最低単元を入力します。
エントリーロジック選択	エントリー条件を出来高アルゴか、GC/DC アルゴのどちらを採用するか選択します。選ばなかった側のセクションの条件は動作しません。
ナンピン/買い増し 選択	1 つの建玉に対して 2 回目のエントリーを行うか選択します。「投資金計算」の場合は 1 回あたりの株数が半分になります。
└ ナンピン含み損 以下(%)	最初のエントリーから指定した%の含み損が発生したら 2 回目のエントリーを行います。
└ 買増含み益 以上(%)	最初のエントリーから指定した%の含み益が発生したら 2 回目のエントリーを行います。
└ 対応時間(以内)	入力した時刻を過ぎたら、その日はナンピン・買い増しを行いません。
エントリー株価指定	現在値が指定した範囲内にある銘柄でのみエントリーを行います。低位株を除外したい場合は株価下限を、値がさ株を除外したい場合は株価上限を使用します。買い・空売りに共通で適用されます。
└ 株価上限	現在値が入力値以下の銘柄でのみエントリーを行います。
└ 株価下限	現在値が入力値以上の銘柄でのみエントリーを行います。
発注時の制限値幅限界	発注株数はストップ高価格を基準に計算するため、株価の高い銘柄ほど発注株数が少なくなります。この機能は、必要な株数を発注できる銘柄だけに絞り込むためのものです。
└ 制限値幅(買い)	ストップ高価格が入力値以下の銘柄でのみ買いエントリーを行います。0 のまま ON にすると該当銘柄が無くなるため、必ず数値を入力してください。
└ 制限値幅(空売)	ストップ安価格が入力値以上の銘柄でのみ空売りエントリーを行います。

差金決済規制(現物)

現物取引では同日に「買い→売り→買い」ができません。ON にすると、その日に一度でも建玉が減った時点でその日の新規建てを停止します。部分決済も「売り」として数えます。信用取引で運用する場合は OFF にしてください。

GCDC 条件

チャートに表示している日中足の分析に使用する移動平均線を入力します。ここで指定した 2 本は、GC/DC アルゴのエントリー判定のほか、日中足 MA 基準エントリー、GC/DC 反転決済、アルゴ決済条件【1】【2】でも参照されます。

短期移動平均線

短期移動平均線の数値を入力します。

長期移動平均線

長期移動平均線の数値を入力します。

デイトレ エントリー条件

主にデイトレードなど、日中の売買条件を入力するセクションです。この条件は出来高アルゴ・GC/DC アルゴの両方に適用されます。

1 日エントリー上限

同日内でエントリーできる上限回数を設定できます。

日々エントリータイム

毎日のエントリー時間を設定する機能です。他のエントリー条件を満たしていても、指定時間範囲外ではエントリーを行いません。「期間共通」は午前・午後の 2 つの時間帯を、「期間分割」は指定日を境に前半と後半で異なる時間帯を使用します。

└ 日々開始時間(午前)／終了時間(午前)

午前中のエントリーが可能な時間帯を入力します。

└ 日々開始時間(午後)／終了時間(午後)

午後のエントリーが可能な時間帯を入力します。

└ 期間分割前半

「期間分割」を選んだ場合の、前半期間の最終日を入力します。

└ 日々開始時間(時分)／終了時間(時分)

「期間分割」の前半期間で使用する時間帯を入力します。

当日利益確保エントリー制限

当日の合計利益が確保ライン以上、または合計損失が逃避ライン以上になった場合、その日はエントリーを行わないようにします。一日に何度も取引を行う場合、一回の利確やロスカットではなくこの機能でリスクターンの管理を行えます。

└ 確保ライン利益率(%)

当日の累計利益率が入力値を超えた場合、その日のエントリーを停止します。

└ 逃避ライン損失率(%)	当日の累計損失率が入力値を超えた場合、その日のエントリーを停止します。
日足基準線反転 想定ロス回避	【日足基準線反転決済】で指定した基準線を割り込んだ際に想定されるロスカット値が入力値を超える場合はエントリーを制限する機能です。許容範囲以上のロスカットが想定されるエントリーを避ける目的で使用します。
└ 回避想定ロス上限(%)	基準線を割り込んだ際に想定されるロスカットの上限を入力します。入力値以上のロスカットが想定されるエントリーは回避されます。

GCDC アルゴ エントリー条件

GCDC 条件に入力した移動平均線を用いたエントリー条件を入力します。エントリーロジック選択で「GC/DC アルゴ」を選んだ場合のみ動作します。

条件に現在値も含む	クロス時に、短期線より現在値が順行方向に超えていたらエントリーします。短期的なだましを回避するために使用します。
超短期線が短期線と並行をエントリー条件	超短期線が 2 本連続で順行方向に傾いているかをエントリー条件とします。
└ 超短期移動平均線	超短期移動平均線の数値を入力します。
移動平均線 2 本の角度乖離値	短期と長期の 2 本の移動平均線がクロス直前にどれだけ乖離しているかをエントリー条件とします。小さい場合は値動きが小さく、大きく乖離していた場合は方向性があるという判断をするためのパラメータです。
└ 乖離値 以下(%)／以上(%)	乖離値の上限と下限を入力します。
エントリー判断足条件	エントリーを判断するローソク足の上昇・下降の条件を入力します。既に大きく伸びきった足でのエントリーを避ける目的で使用します。
└ 判断足陰陽%	エントリーを判断するローソク足の本体の伸びが、始値から入力%以内であることを条件とします。
└ 1 本前足比較%	エントリーを判断するローソク足の現在値が、1 本前の終値から入力%以上順行方向に乖離したことを条件とします。
日足 MA 乖離率	指定値が、選択した日足移動平均線からの乖離率が指定の範囲内だった場合にエントリーを行います。
└ 判定基準値	乖離率を計算する際の、株価の基準値を選択します。
└ 順行率(%)	買いの場合は MA から何%上、空売りの場合は下に何%までの乖離を許容するかを設定します。

└ 逆行率(%)

買いの場合は MA から下に何%、空売りの場合は上に何%までの乖離を許容するかを設定します。

決済条件

トレーリングストップ以外の決済にかかわる条件を入力します。各々の機能が決済条件を満たしたら、他の機能の条件を満たさずとも決済が行われます。

日足基準線反転決済

1 日足の MA や 4 本値を基準とし、株価が割り込み・超過した場合に決済する機能です。株価やパーセンテージではなく、移動平均線や前日の日足を基準とした簡易的な決済を行う際に利用します。「(2 日目)」の付く選択肢は、2 営業日連続で基準線を割り込んだ場合のみ決済します。

└ 反転決済 判定時間

基準線を基準に株価が反転したかどうかを判断する時間を入力します。入力時間以前の株価推移は反映されません。「1450」など相場の後半に設定することで、日中の乱高下で一瞬だけ基準線に触れて決済してしまう事態を回避できます。

強制決済・利確 発動時間

ポジションを保有し続ける上限日数を入力し、上限日以降の指定時間以降に決済を判断する機能です。「強制決済」は含み損益に関係なく必ず決済し、「強制利確」は含み益が指定%を超えたら決済します。利確・損切条件を満たさない銘柄を保有し続ける機会損失を防ぐなどに利用します。

└ 強制決済発動日数

保有の上限日数を入力します。エントリー当日を 1 日目として数えます。「1」でエントリー当日、「2」で翌営業日が対象となります。

└ 発動時間

強制決済発動日の当日、入力時間以降になると強制決済・利確が発動します。

└ 利確判断含み益(%)

「強制利確」を選んだ場合のしきい値です。上限日以降で入力した含み益以上になっていたら決済を行います。

GC/DC 反転決済

GCDC 条件に入力した移動平均線が反転したら決済します。買いポジションの場合「短期<長期」、空売りポジションの場合「短期>長期」で決済します。

└ 発動条件含み益(%以上)

指定した含み益以上でないと発動しません。

エントリー直後決済判断

エントリー直後のローソク足で含み損が発生したら決済します。

ロスカット

建値を基準とした損切り条件を入力します。

ロスカット下落%

平均建値から入力%逆行したら決済します。100 を入力するとこの機能は動作しません。

アルゴ決済条件【1】

GCDC 条件に入力した移動平均線と、指定したローソク足の基準値の反転によって利確を判断します。アルゴ決済条件【2】を併用している場合は保有株数の半分だけを決済します。

利確条件【1】

指定した移動平均線と指定したローソク足の基準値の反転によって利確を判断します。「高値/安値」を選ぶと現在値より早く反応します。

発動条件含み益(%)

含み益が入力%以上でないと発動しません。

アルゴ決済条件【2】

【1】より上の含み益%をセットする事で、利確ポイントを2段階に分ける事が可能です。【1】で部分決済を行った後の残りの建玉を決済します。

利確条件【2】

指定した移動平均線と指定したローソク足の基準値の反転によって利確を判断します。

利確発動条件

発動条件を初回エントリーの「当日以降」「翌日以降」「翌日以降 or 含み益」で指定します。

発動含み益(※半分決済値からの計算)

【1】で決済を行っている場合は、【1】の決済値から現在値が指定の%プラスで利益が出ているときに発動します。

買値撤退

【1】で決済した後、株価が買値付近に戻ってきたら決済します。

出来高アルゴ エントリー条件

主に出来高の増減をエントリー条件としたアルゴリズム取引のエントリー条件を設定します。エントリーロジック選択で「出来高アルゴ」を選んだ場合のみ動作します。日足を基準とした各種フィルタもこのセクションに含まれます。

平均計算日数

日中足の出来高平均を計算する日数を入力します。前営業日までの平均を使用します。

出来高の倍数

日中足の出来高平均に比べ、入力倍数以上の出来高増加が見られた場合にエントリーします。

過去出来高 集計開始時間／集計終了時間	過去の日中ローソク足の平均出来高を計算する時間帯を入力します。
エントリー判定 開始時間／終了時間	判定時間内に条件を満たしたローソク足でエントリーします。
当日の寄付き以外の平均出来高比較	当日のローソク足の出来高平均に比べ、入力倍数以上の出来高増加が見られた場合にエントリーします。
└ 平均出来高比率(%以上)	当日の平均出来高に対する倍数を入力します。
日足 MA 位置関係	25 日移動平均線、75 日移動平均線、現在値の位置関係の条件を満たした時のみエントリーを行います。【1】現>25>75、【2】25>現>75、【3】25>75>現、【4】75>25>現、【5】75>現>25、【6】現>75>25。その番号の組み合わせで、選択した条件の時にエントリーします。NG と記載があるものは、選択した条件以外の時にエントリーします。
└ 買い条件／空売り条件	買い・空売りそれぞれの位置関係の条件を選択します。
└ 5MA との位置関係	上記条件に加え、買いエントリーの場合は「現在値>5MA」、空売りエントリーの場合は「現在値<5MA」を満たす場合にエントリーを行います。
日足 MA 昇降率	選択した移動平均線が 4 日前の数値に対して指定の上昇・下降率条件を満たしている場合エントリーを行います。順行率 100・逆行率-100 のままにした移動平均線は判定対象から外れます。
└ 5MA／25MA／75MA 順行率(%)	買いの場合は上昇率、空売りの場合は下降率の上限を入力します。
└ 5MA／25MA／75MA 逆行率(%)	買いの場合は上昇率、空売りの場合は下降率の下限を入力します。
5 日 MA 突破日数	前日の終値から選択した 5 日移動平均線を初めて突破した日、または翌日以降にエントリーを行います。上抜いたら買いエントリー、下抜いたら売りエントリーのみを行います。当日の現在値が 5MA を割り込むと日数のカウントは 0 に戻ります。
└ 突破日数	突破して何日目以降でエントリーを行うかを入力します。「1」は当日です。
└ 銘柄群指定	この条件を適用する銘柄を、銘柄群で絞り込みます。
直近〇日以内急騰落銘柄回避	エントリー判断する際に直近で急騰・急落していた場合はエントリーを回避します。買いは急騰、空売りは急落が対象です。
└ 急騰/落比率(%以上/以下)	急騰・急落と判断する変動率を入力します。その日の高値（空売りは安値）が前日終値から入力値を超えた日を急騰日・急落日とします。
└ 直近〇日以内	直近の入力日数以内に急騰日・急落日があった場合はエントリーを回避します。

日足 MA 基準エントリー	指定した日足移動平均線に対し、指定値が「買い」の場合は超えている、「空売り」の場合は割り込んでいたらエントリーします。
└ 判定足	エントリー判断する値を選択します。「当日始値&現在値」は両方の成立を求めます。
日中足 MA 基準エントリー	GCDC 条件に使う移動平均線に対し、現在値が「買い」の場合は超えている、「空売り」の場合は割り込んでいたらエントリーします。
エントリーローソク足抵抗髭率	エントリー判断をするローソク足の上髭・下髭の長さの割合が、「買い」の場合は上髭、「売り」の場合は下髭が指定の%を超えていたらエントリーを回避します。
└ ローソク足値幅(%)	エントリー判断をするローソク足の長さが始値を基準に指定の%未満の場合は、髭率の判定を行わずエントリーします。
└ 抵抗髭率(%)	ローソク足全体に対し、抵抗側の髭の長さが指定の%以内だった場合エントリーします。
指定値 許容乖離率	前日の基準値から当日の基準値が設定した%内の場合はエントリーを行う機能です。乖離率条件に指定する当日と前日の 4 本値を 2 パターン入力できます。「前日足 乖離」は当日と前日の値幅が重ならない（窓開け）とき、「前日足 重複」は重なるときにエントリーします。
└ 基準値 1 / 対象値 1	比較する当日・前日の値をそれぞれ選択します。「順行髭」は買いなら高値、空売りなら安値を指します。
└ 順行率 1 (%) / 逆行率 1 (%)	許容する乖離率の上限と下限を入力します。
└ 基準値 2 / 対象値 2 / 順行率 2 / 逆行率 2	「条件 2」を選んだ場合に使用する 2 組目の条件です。1 組目との AND 条件になります。
対 1 本前出来高比較	エントリーを判断するローソク足の 1 本前の出来高の倍率を比較し、入力値以上（または以下）の倍数の場合にエントリーします。
└ 出来高の倍数(倍)	エントリー条件の倍率を入力します。
└ 銘柄群指定	この条件を適用する銘柄を、銘柄群で絞り込みます。
値幅率	指定した期間に場中（日中）の値幅率が指定の%を満たした場合エントリーを行います。値動きの激しい銘柄を回避したり、逆に値動きの大きい銘柄を狙いたい場合などに利用します。「翌日」は前日の値幅率で判定し、「直近 2 日間」は当日と前日の両方が範囲内であることを求めます。
└ 上限(%) / 下限(%)	許容する値幅率の範囲を入力します。

日経平均株価 MA 乖離率

相場全体の地合いによってエントリーを制御するセクションです。本ストラテジーで日経平均を参照するのはこの機能だけで、他の MA 関連パラメータはすべて銘柄自身の MA です。日経平均の現在値と、日経平均の日足 5・25・75MA との乖離率で判定します。3 本の MA は AND 条件で結合されます。

日経平均株価 MA 乖離率	この機能を使用するかどうかを選択します。
└ 5 MA / 25 MA / 75 MA 順行率 (%)	許容する乖離率の上限を入力します。
└ 5 MA / 25 MA / 75 MA 逆行率 (%)	許容する乖離率の下限を入力します。
└ 5 MA / 25 MA / 75 MA 範囲内	「エントリー可」は乖離率が上限～下限の範囲内のときだけエントリーします。「エントリー不可」は範囲内のときだけエントリーを止めます。「OFF」はその MA では判定しません。
└ 銘柄群指定	この条件を適用する銘柄を、銘柄群で絞り込みます。

銘柄群

銘柄コードのリストを 3 組まで登録できるセクションです。ここで登録した群を、各機能の「銘柄群指定」から呼び出して条件の適用範囲を絞り込みます。

銘柄群【1】【2】【3】 銘柄コードをカンマ区切りで入力します。全角カンマ・読点・空白・タブは自動で吸収されます。英字を含む銘柄コードにも対応しています。

補足 —— 銘柄群指定の選択肢

「5 日 MA 突破日数」「対 1 本前出来高比較」「日経平均株価 MA 乖離率」の 3 機能で、条件を適用する銘柄を絞り込みます。選択肢は OFF のほか、【適用】と【不適用】それぞれに 1・2・3・1&2・1&3・2&3 の 6 通り、計 13 種類です。

OFF	全銘柄にその条件を適用します。
【適用】1 / 2 / 3	選んだ群に入っている銘柄にだけ条件を適用します。群外の銘柄では、その条件は OFF 扱い（無条件で通過）になります。
【不適用】1 / 2 / 3	選んだ群に入っている銘柄では条件を OFF 扱いにし、それ以外の銘柄に条件を適用します。
【適用】1&2 など	2 つの群のどちらかに入っている銘柄に条件を適用します。1&2・1&3・2&3 の 3 通りがあります。
【不適用】1&2 など	2 つの群のどちらかに入っている銘柄では条件を OFF 扱いにします。

ご利用にあたっての注意事項

設定漏れや誤解が起きやすい項目をまとめています。運用開始前にご確認ください。

日経平均株価 MA 乖離率の助走期間

「範囲内」を OFF 以外にすると、日経平均の MA が計算できない期間のバックテストではエントリーを一切行いません。25MA なら日足 25 本、75MA なら 75 本ぶんのデータが必要です。チャートの表示期間が短いと、この助走期間が検証範囲の大半を占めることがあります。使わない MA は必ず「範囲内=OFF」にしてください。

銘柄群指定の入力漏れ

群を選んだのに銘柄群の入力欄が空だと、【適用】は「どの銘柄にも適用されない」、【不適用】は「全銘柄に適用される」と正反対の結果になります。群を選んだら必ず銘柄コードを入力してください。

発注時の制限値幅限界の入力漏れ

ON にするときは必ず数値を入力してください。0 のままだと該当する銘柄が無くなり、エントリーが行われません。

エントリー株価指定と発注時の制限値幅限界の違い

「エントリー株価指定」は実際の株価（現在値）で取引したい価格帯を絞り込む機能、「発注時の制限値幅限界」はストップ高・ストップ安価格を基準に必要な発注株数を確保する機能です。両方を ON にした場合は、双方の条件を満たす銘柄だけがエントリー対象になります。

ナンピン使用時のコメント文字列

ナンピン・買い増しを ON にすると、エントリー・決済時のコメント文字列が「半分新規買い」「半分返済売り」などに変わります。トレスタでは Webhook 連携側の受け取り処理がこれらに対応した取引となります。

1 建玉あたりの上限回数

1 つの建玉に対して執行できるのは、初回エントリーとナンピン・買い増しの 2 回までです。部分決済などで建玉が一度でも動くと、ナンピンの権利は失効します。

アラートの作り直し

アラートは作成時点の設定値を保持します。パラメータを変更したら必ずアラートを作り直してください。